

新日本有限責任監査法人 西日本事業部

JOINUS!

WEST 2016 Vol.2

定期採用情報サイトが オープンしました!

定期採用に関する情報や、当法人で働く人々の様子を、
当法人の定期採用HPおよびFacebook、定期採用ブログにて案内していきます。
就職活動に向けた情報収集に活用してご覧いただければと思います。

◆ 定期採用HP ◆

<http://www.shinnihon.or.jp/recruit/>

◆ MY PAGE ENTRY ◆

<https://mypage.1170.i-web.jpn.com/EYshinnihon2016/>

◆ Facebook ◆

<https://www.facebook.com/EY.recruit.KC>



新日本有限責任監査法人 大阪事務所

〒530-0017
大阪市北区角田町8-1
梅田阪急ビルオフィスタワー37階

リクルート専用フリーダイヤル
☎ 0120-456-163



INDEX

女性会計士座談会

大阪事務所で活躍する女性会計士3名に、当法人での働きやすさや女性支援制度について話し合っていました。

法人構成員インタビュー

大阪事務所の法人構成員3名に、簡単なインタビューをしました!

J1アンケート

入社1年目のスタッフたちにさまざまなアンケートを行いました。

オフィスツアー

大阪事務所内のいろいろな施設をご紹介します。



Round-table Talk

» Female Accountant



マネージャー
監査部門第3グループ所属

竹田 由梨 Yuri Takeda

入社11年目の中堅会計士。出産による休暇を経て職場に復帰した、働くお母さん。休日は子どもと過ごす傍ら、教室に通って料理の腕をあげている。

シニア
監査部門第3グループ所属

福田 菜月 Natsuki Fukuda

入社4年目の若手会計士。メーカーや百貨店業などの監査業務に日々力を発揮している。マイブームは、休日外に走りに行って体を動かすこと。

シニアパートナー
監査部門第6グループ所属

林 由佳 Yuka Hayashi

入社30年以上になるベテラン会計士。国内監査業務を中心に、上場準備やIFRS導入支援業務でも活躍している。趣味はゴルフと年に1回の海外旅行。

プロフェッショナルとして活躍する舞台

新日本有限責任監査法人 西日本事業部(以下、当法人)では、多様な価値観を尊重する組織風土を大切にしています。そのため、当法人では、性別や年齢、個性の相違に囚われることなく、さまざまな意見を共有し、組織として成長できる環境をつくりあげています。JOINUS! WEST 2号(以下、当冊子)で、当法人では皆が自分らしく働ける、ダイバーシティな環境にあることを感じ取ってもらえたらと思います。

林 スタッフやシニアの間は自身の成長、マネージャーになるとクライアントと折衝して問題を解決すること、パートナー以上になるとクライアントへの先を読んだアドバイスで信頼関係を築くことにやりがいを感じます。内部から外部に意識が向かっていくと思いますよ。

当法人について

林 さて、お二人にお聞きしたいのですが、お二人にとっての当法人の魅力は何だと思いますか？

竹田 私はやはり風通しの良さだと思います。年次の離れた方とも活発に議論する場が多く、自分の意見をしっかりと伝えることができます。また、女性は男性に比べると人数が少ないこともあり、女性同士のつながりが強いです。年次や職階を問わず一緒に食事に行ったり、休日に遊んだりしています。

福田 私は二つあると思っています。一つはやる気を見せれば、比較的若い年次から仕事を任せてもらえることです。もう一つは、後輩の成長を考えていろいろな仕事を任せてくださったり、指導してくださる先輩が多いことです。

林 それらは、当法人がさまざまな事務所と合併してきたため、いろいろな組織風土を受容し、多様性を受け入れているからですね。一つのパターンに当てはまることなく、いろいろな人がいて、いろいろな人を育てていけるところが当法人のいいところだと思います。

竹田 確かに女性の働きやすさの観点からもその組織風土の良さを感じますね。女性といっても男性と特に違うところはなく、法人内で差を感じたことはありません。会計士資格を持って仕事をしているため、結婚や出産があっても、仕事への影響は比較的小さいと感じます。



業務について

林 福田さんは入社して4年目になりますが、入社時に比べて成長した部分はありますか？

福田 考える力や仕事への責任感は身に付いてきたと思います。入社1年目のとき先輩に「入社1年目のときは何でも聞いたらいいよ、新人の間は知らないことは恥じゃないので、今のうちにどんどん聞いてくれ。」と言われました。そのため、入社1年目のときはたくさん質問して知識を少しでも身に付けることを意識していました。ただ、聞いてばかりだと自分で考える力

が身に付きません。そこで、入社2年目ごろから、仕事をひとまず任せきりにしてもらえる機会が増えました。

林 会計士として成長できるいい機会だったのではないですか？

福田 そうですね。自分でひとしきり考えたり調べたりした上でその結果を上司に相談し、それからクライアントの方と話し合うようにしていました。それにより責任感も身に付き、自分なりの考えを持てるよう



になりましたね。竹田さんにお聞きしたいのですが、監査のやりがいは何だとお考えですか？

竹田 クライアントの方に役に立って感謝してもらえたときはもちろんですが、どんどん自分を高めていくことが多いですが、一つ一つの作業をやっていけば確実に物事が進んでいき、確かな実績になるので無駄なことが何もありません。やり続けるほど理解が深まって業務の質も高まり、自身の成長にもつながりますね。林さんは年次が上がるにつれ、やりがいの変化はありましたか？

Round-table Talk

≫ Female Accountant

福田 男性と比較して女性は昇格しにくいとか、女性だから重要な役割を任せてもらいにくいということもありませんよね。また、周りの先輩が短縮時間勤務制度や育児休暇をしっかりとっていることも魅力的です。制度があっても使われていない組織だと、そういった制度を使いづらいと思います。当法人はそんなことがないですし、短縮時間勤務制度を取っている方が昇格しにくいということもありません。その点がいいですね。

林 当法人は、いろいろな複線型勤務の体系があり、なおかつそれを実践しています。また、女性が上司として、男性に指示を出すことに抵抗がない組織です。数十年前は監査法人における女性パートナーの比率はまだまだ低かった中、当法人では比較的多くの女性パートナーが在籍していました。古くから女性が上司となることに対して抵抗のないDNAが引き継がれています。そこは女性として働きやすい点だと思います。

竹田 私も現在、短縮時間勤務制度を利用しており、仕事の時間は仕事に集中し終業時間がきたらすっきり家庭モードに頭を切り替えることができます。家庭の時間もきちんと確保できることで子どものお迎えの前にご飯の支度をはじめたり、気持ちと時間の余裕が生まれ、子育ての負担を軽減できていると思います。

林 短縮時間勤務制度が導入されてから、非常に利用者が増えていきますね。特にお子さんがいる方はお迎えができるかできないかがネックになります。せっかく能力のある方が、お子さんができたために辞めることが非常にもったいないと感じていました。この制度により辞める方が減ったことは、法人にとってもプラスとなっています。そして在宅勤務制度などがこれから導入されるようですが、それによってより効率よく仕事ができるような環境が整えばと思います。



今後のキャリアプランについて

林 皆さんは今後、どのようなキャリアプランを歩んでいきたいと思っていますか？

竹田 私は短縮時間勤務制度を利用しながら、私なりの働き方で着実に進んでいきたいと思っています。マネージャーになって得意分野の必要性を感じていて、さまざまな視点を持つために、多くの本や人や場所などに触れていきたいと思っています。福田さんはどうですか？

福田 模索中ですが、しばらくは監査業務に従事した後、当法人の出向制度を利用し、一般事業会社にて経理の経験を積んでみたいと考えています。受験時代からとても会計が好きで、働きはじめてからもやはり会計はおもしろいなと思っています。今は作られた財務書類を「見る」側の視点で監査業務に従事していますが、「作る」側の視点も面白そうだと感じています。

受験生へのメッセージ

竹田 当法人はいろいろな働き方を選択することができるため、誰もが生き生きと働ける環境が整っています。近い将来、皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

福田 私自身、受験勉強や就職活動を乗り越え、当法人でさまざまな業務に取組んで本当に充実した日々を送っています。皆さんにもぜひこの楽しさを感じていただきたいですし、あと少しがんばってください。

林 当法人は、フラットで風通しがいいところですが、入社したらいいことばかりではなく、悩んだり苦しんだり迷ったりすることもあると思いますが、それをシェアできる仲間がたくさんいます。説明会などでそのような雰囲気を感じていただき、結果として一緒に仕事ができることになればとても嬉しいです。



Interview

≫ Male accountant 現場で活躍されている男性構成員の皆さんにもインタビューしてみました!



マネージャー

鈴木 浩嗣 Koji Suzuki

先輩や部下を指導するときに気を付けていることを教えてください。

主に3つのポイントがあります。①期限を守る、②丁寧に仕事をする、③他人に説明し、理解してもらえらるまで自分が理解する。以上の3つです。

①と②は、他のメンバーから信頼を得ることができると共に、任せてみたいと思われてチャンスがたくさんもらえます。①と②で得た信頼をもとに、③で知識面が備わっていると理解してもらえれば、より大きな仕事に関わるチャンスが増え、非常に充実した法人生活になります。

なお、人に言うだけでは誰も聞いてくれませんので、日々、①～③を実践するよう業務に取組んでいます。

若くして重要な仕事を任せられたことに対する意気込みや、今後がんばっていこうと思うことを教えてください。

私は入社4年目のときに、入社1年目から関与していたクライアントの主査に抜擢していただきました。主査はクライアントの相談窓口として非常に責任があります。

クライアントから受ける会計や税務の相談も非常に難解なものが多く、一筋縄でいかないものばかりです。しかし、その相談に対して、基準や他社事例などをきちんと押さえ適切な回答を提示できたときは、主査として仕事のやりがいを感じます。

主査になって、会計や税務に関する高度な知識と経験の必要性を強く感じましたので、これからも更にそれらの研鑽に努め、クライアントから信頼される会計士になりたいと強く感じています。



シニア

荻野 貴士 Takashi Ogino

現場で印象に残っているエピソードを教えてください。

今まで嬉しかったことや苦労したことなどは、正直数えきれません。中でも特に印象深いのは、やはりクライアントに感謝されたときの達成感ですね。以前、アドバイザー契約のクライアントに行っている際、まったく経理機能が整っていないところがありました。そのクライアントに対し、1週間連続で深夜まで経理面だけでなく内部統制についても丁寧に指導機能を発揮しました。その結果、父親ぐらいの歳である管理職の方に涙目で感謝されたときは、公認会計士のプロフェッショナル感と例えようのない達成感を味わいました。それ以来、アドバイザー契約でないクライアントからも、感謝され頼りにされる会計士を目指し日々がんばっております。



シニア

近藤 雄介 Yusuke Kondo

Questionnaire

≫ J1(入社1年目のスタッフ)

J1 Q&A

－ 初往査の感想は？

チームもクライアントの方も初めてお会いするので、ただただ緊張していました。現場での作業は先輩がしっかりと指導して下さったので、無事にこなすことができました。作業手順や担当者への対応方法など、知らないことがたくさんあったので勉強になりました。

初往査は先輩方もフォローしてくれるので、心配することはありませんよ

補習所では
考査やレポートの提出もあるので、気は抜けないとの意見もありました

－ 補習所の感想は？ 実務との両立は大変ですか？

補習所は実際の現場で使う知識であったり、手法を教えてくれる場所です。当法人の方針としても補習所を優先してくれるので、実務との両立も難しくはありません。正直しんどいなと思うときもありますが、同期のみんなに会えることは本当に嬉しいですね。

－ 当法人を選んだ理由は？

説明会で出会った熱意ある先輩への憧れや、法人の雰囲気の良いさが決め手となりました。また、国際部やパブリック部など独立した部門があり、将来さまざまな分野で活躍できると考えたからです。

説明会やイベントに参加しないと分からないことはたくさんあります。皆さんもぜひ積極的に参加してくださいね

－ 現場に出て身に付いたことは？

問題意識をもちながら物事を考えるようになりましたね。会社の担当者へ監査に必要な資料を依頼したり、会計処理についての指導を行うことで、受験勉強で学んだ知識を実務に生かすことができるようになりました。

新人であってもクライアントからはプロフェッショナルとして見られるので、質問されることも多々あります

－ どのような先輩がいらっしゃいますか？

知識が豊富で、どんな質問にも優しく丁寧に回答して下さる方が多くいます。また、抜くところは抜きつつも真剣なまなざしで仕事に取り組んでいらっしゃる先輩が多いです。ですのでチームの雰囲気もよく、魅力的な先輩が多くいらっしゃると思います。

当法人は情熱のある方やメリハリをつけて働く方が多く、目標になる方々に出会えました!

Office Tour

≫ Osaka Office

各線梅田駅から徒歩2～6分とアクセス抜群なオフィス。そんなオフィス内はどうなっているのか、一緒に見学してみましょう!



私たちが案内します!

J1 青地 剛志 J1 早川 芳斗

1 出社・退社時

15Fまでのエレベーター

80人乗りのエレベーターで、1Fのエントランスから15Fのスカイロビーへ。

2 37F受付

15Fスカイロビー

ここで事務所行きのエレベーターに乗り換えます。コンビニやカフェもあります!

受付の横には梅田北エリアが一望できる大きな窓と待合室があります。

6 リラクゼーションルーム

15Fまでのエレベーター

休憩や談話をする場として利用できます。お菓子やジュースも売ってますよ。

3 オープンデスク

文具

業務で使う文具はここで補充することができます。

書籍

専門書籍がたくさんあり、困ったときに利用できます。

事務所では、シニア・スタッフはオープンデスクで仕事をします。仕切りがなく座る場所も自由です。

5 会議室

会議やチームで仕事をするときに使う会議室。他の事務所や海外とテレビ会議が行われることもあります。

4 個人ロッカー&メールボックス

荷物が多い日も安心!

各個人に大きなロッカーとメールボックスが貸与されます。ロッカーは小さめのキャリーバックが入るほどの大きさ!

あとがき



リクルーターの青地(左)と早川(右)です。論文武試験の合格発表まで後わずかとなってしまいましたね。そろそろ受験勉強の疲れも癒え、落ち着いてきたのではないのでしょうか。合格発表後は慌ただしくなるので、今のうちに面接で話すネタやエントリーシートに書く内容を考えておくことをオススメします。当法人では個性を尊重するため、前職の有無や性別にかかわらず働きやすい環境が整っています。また、11月14日(月)と15日(火)に合格者向けの法人説明会の開催を予定しています。当日、皆さんにお会いできることを楽しみにしています。